



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No.8

2025.8.27(No.3255)

ロータリーで善の循環を

第2560地区ガバナー／室賀信宏
 会 長／柳取崇之
 会長エレクト／小林吾郎(クラブ奉仕A)
 副 会 長／吉井直樹
 幹 事／早川滝徳
 S A A／長谷川正実
 会 計／船越良則
 直前会長／渡辺良一
 会長ノミニ／明田川賢一(クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
 E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 https://www.sanjorotary.site

■本日の出席会員数:56名中42名
 ■先々週出席率:81.82%

【ゲスト】

- ・国際ロータリー第2560地区ガバナー 室賀信宏 様(白根RC)
- ・第4分区ガバナー補佐 青柳修次 様(燕RC)
- ・地区幹事 関根功雄 様(白根RC)

【ビジター】

- ・三条RAC 会長 西山芳彬さん、幹事 大竹光基さん

【先週のメークアップ】

- [8.21] 三条RACへ
 ・柳取崇之さん、梨本次郎さん、
 ・相場弘介さん
- [8.22] 吉田RCへ
 ・田久保良さん、渡部 宏さん
- [8.25] 三条南RCへ
 ・松永隆夫さん、白倉徳幸さん、
 ・渡部 宏さん、丸山行彦さん、
 ・小林吾郎さん
- [8.26] 三条北RCへ
 ・斎藤弘文さん、渡部 宏さん、
 ・丸山行彦さん、近藤雄介さん、
 ・小林吾郎さん、小越憲泰さん

よいことの
 ために
 手を取りあおう

2025～2026年度国際ロータリー会長メッセージ



「サウナの森 水沼ヴィレッジ (投稿者:落合孝夫様)」

会長挨拶

柳取崇之 会長



皆さんこんにちは。

本日はガバナー公式訪問であります。今年度ガバナーの室賀信宏様、第4分区ガバナー補佐の青柳修次様、地区幹事の関根功雄様ようこそおいで頂きました。本日は宜しくお願い致します。

さて、お盆が過ぎましたがこれからの予報を見る限り涼しくならないようであります。

先週、金融機関の講演会でテレビで活躍されている気象予報士の天達武史氏のお話を聞くことが出来ました。

当クラブのメンバーの皆さんも何人か参加をされておりました。その中で印象的だったのが今年の9月は8月になるとの予報をされたことでした。それと言うのも昨年9月中旬に猛暑日が観測され、今年も同じように9月は真夏日が当たり前だと言われておりました。あと一か月は熱中症には気を付けてお過ごしください。

また10月が9月になるとの事で、それにより9月に多い台風は10月が台風シーズンになるそうで、台風プラス秋雨前線により大雨になる可能性を言われておりました。やはり地球規模で気候変動が進んでいるんだなあ実感した講演会でありました。

尚、新型コロナウイルスの変異株「ニンバス」も感染が増えてきているようですので体調には十分注意されてください。

「備えあれば憂いなし」と言う言葉もあるようにしっかりと備えていきたいと思えます。

最後にガバナー月信の南雲年度最終号が発刊されました。当クラブの2024～25年度第4分区ガバナー補佐 杉山さんの一年を振り返ってのご挨拶文が掲載されておりますので地区ホームページよりご覧ください。

以上 挨拶を終わります。

幹事報告



早川滝徳 幹事

◎三条市市民部環境課より

「三条スポGOMI大会のご案内」

日時 9月28日(日) 8:30～11:00

※小雨決行

集合 環境啓発施設 かんきょう庵

締切 9月15日(月)まで

◎ロータリー囲碁同好会より

「第23回ロータリー全国囲碁大会のご案内」

日時 11月8日(土) 10:00～

会場 日本棋院本院(東京・市ヶ谷)

ニコニコBOX

第2560地区ガバナー 室賀信宏 様

本日の公式訪問よろしく申し上げます。

第4分区ガバナー補佐 青柳修次 様

よろしく申し上げます。

柳取崇之 会長

室賀ガバナー本日はお越しいただきありがとうございます。

渋谷政道さん

先日は米山記念奨学生カウンセラーとしての任に対しての過分なるお心遣いをいただきありがとうございました。奨学生の胡さんとのお別れの食事会に使わせていただきました。

本日は室賀ガバナー公式訪問を歓迎いたします。

荻根澤隆雄さん

第2560地区ガバナー公式訪問に際し、ガバナー 室賀様、ガバナー補佐 青柳様、地区幹事 関根様、ご苦労様です。よろしく申し上げます。

渡辺良一さん

今日は雨ですが、まだまだ暑い日が続きます。皆様くれぐれもご自愛ください。

室賀ガバナーようこそ三条RCへ。よろしく願いいたします。

野水靖之さん

室賀ガバナー、三条へようこそ!!

五十嵐晋三さん、 渡部 宏さん、 早川滝徳さん、
五十嵐博宣さん、 関川 博さん、 松永隆夫さん、
嘉瀬一洋さん、 安達俊明さん、 山田富義さん、
小越憲泰さん、 丸山行彦さん、 吉井直樹さん、
中村和彦さん、 明田川賢一さん、 相場弘介さん、
小出子恵出さん、 高橋俊樹さん、 野崎喜一郎さん、
杉山幸英さん、 石橋育於さん、 落合孝夫さん、
菊池 渉さん、 松永一義さん、 長谷川正実さん、
歸山 肇さん、 斎藤弘文さん、 成田秀雄さん、
岩橋美穂さん、 船越良則さん、 佐野勝榮さん

室賀信宏ガバナーを心より歓迎いたします。

本日はご指導よろしく願いいたします。

8月27日分 ￥ 41,000

今年度累計 ￥368,000

9月のお祝い

◎会員誕生祝い

13日 杉山 幸英さん

20日 山田 富義さん

◎配偶者誕生祝い

6日 伊藤 清香さん(浩志さん)

12日 嘉瀬 佐知子さん(一洋さん)

◎結婚記念祝い

10日 本間 幸雄さん(智子さん)

16日 清水 泰生さん(亜矢子さん)

24日 渡辺 良一さん(ひとみさん)

29日 渋谷 政道さん(笑美さん)





「公式訪問」
国際ロータリー第2560地区
ガバナー 室賀信宏 様
(白根RC)




ガバナー公式訪問
国際ロータリー第2560地区
2025～26年度
ガバナー 室賀信宏



33歳まで東京の大田区蒲田で育ち、父が営んでいた月湯村の金属加工工場に責任者として新潟に来たのが新潟に住むきっかけでした。

1999年白根ロータリーに入会し地区委員会出向や白根クラブ内では幹事・会長を経て昨年第3分区のガバナー補佐をさせていただき今年度第2560地区ガバナーを拝命させていただきました。



2025-26年度国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツォ氏
(イタリア ラグーザ・ロータリークラブ所属)




今年度RI会長はイタリアのフランチェスコ・アレツォ氏ですがみなさまご存じの通り当初予定ではブラジルのマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏が会長エレクトの職をビジネス上の理由と体調の面で鑑み辞任するという知らせが6月に報告されRI理事会が開かれアレツォ氏が選任されました。



2025-26年度 国際ロータリー会長メッセージ
「よいことのために手を取りあおう」
～UNITE FOR GOOD～

親愛なる会員の皆さま

分断が進む世界において、ロータリーは団結の象徴であり続けています。ロータリーが前進する中で、ロータリーの中核的価値観と使命はこれまでと変わらず、私たちは引き続き、会員増強、平和、ポリオに焦点を当てています。今年度の始まりに、次の明確なメッセージをお伝えしたいと思います。

「よいことのために手を取りあおう」

これは、シンプルかつ簡潔で、インパクトをもつ力強い言葉です。ロータリーでは、日々のあらゆる奉仕、入会してくる新会員、世界的な課題への取り組みの裏に、二つのこと、すなわち「友情」と「信頼」があります。



本年度は従来の年度毎のスローガンやイメージデザインマーク(ロゴ)をやめてRI会長メッセージが発表されました。ロータリーは継続性を持って活動しよう「ローリングゴールド」の提唱に沿って各地区にも3年間の目標と計画(3-year Rolling Target/Plan)の策定を求めています。1月に東京で日本の34地区のガバナーエレクトが集まりマリオエレクト会長との懇談会の中でこのことを提言されていました。「よいことのために手を取りあおう～UNITE FOR GOOD～」の説明文の中にあるインパクトとは数値で示すことが可能な結果と捉えてください。



つながりを広げる

会員のニーズに応える充実した体験がクラブでできるようにすることが何よりも重要です。これは、クラブが新しい人々を温かく迎え入れ、柔軟になり、新しいアイデアにオープンになることを意味します。また、地域社会のニーズに敏感に対応することも意味します。



地域社会が何を必要としているかを知り、地域のリーダーと協力してぜひそれを実現してください。ロータリーでは、地元でのつながりを築くことが、世界的なインパクトを高めることとなります。




対話と協力を育む

よいことのために手を取りあえば、世界だけでなく、私たち自身の中にも持続的な変化を生み出すことができます。大切なのは、互いに寄り添い、熱心に耳を傾け、友情を育むことです。私たちは、思いやりのあるコミュニティを築きます。また、互いを支え合うことで、私たち自身の成長にもつながります。



今年度ロータリーでどのような文化や体験をつくりたいかを話し合い、クラブで積極的な参加を促進するための新しいアイデアや創造的な方法をぜひ試してみてください。




ロータリーと共に ポリオをなくそう

1988年以来、ポリオによって麻痺を患う子どもの数は99.9%減少しました。これは、近代史上最も成功した保健キャンペーンの一つであり、ロータリー会員が草の根の力を結集すれば持続的な変化が生み出せることの最良の例です。ここで歩みを止めることなく、世界の子どもたちとの約束を守らなければなりません。



今日、私たちは新たな課題に直面していますが、力を合わせればポリオの根絶は可能です。この目標を達成するためにロータリー会員とパートナー団体が共に取り組んだことは、必ずや歴史に刻まれるでしょう。



ポリオ根絶はロータリアンが世界中の子供たちと交わした約束であります。我々はロータリーの一人としてポリオ根絶に向けてしっかりと足取りで歩むことこれは非常に重要なことであるという風に考えております。

2025～26年度 国際ロータリー第2560地区 目標
「ロータリーで善の循環を」

国際ロータリーのマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長エレクトは、2月10日、米フロリダ州オーランドで開催されたロータリー国際協議会で、「**よいことのために手を取りあおう**」～UNITE FOR GOOD～というメッセージを発信しました。

本年度より「RI会長テーマ」は廃止され、年度ごとに作成されていたロゴも廃止となりました。メッセージとテーマの違いは、テーマは年度のRI会長が発信するものであり、メッセージは理事会で決定されたものであるという違いがあります。これは「不可欠な3つの柱」である継続性を尊重し決定されたものです。

私はガバナーとしてRIのメッセージをクラブ会長を始め、地区内のメンバーにいきわたることを使命としております。また地区は各クラブの活性化と円滑な運営を目標とし、活動していきたいと考えます。地区は決して上下下連の存在ではありません。

マリオ会長スピーチの「**ロータリーの最大の価値は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりの中でもありません。それは会員です。**」のとおり、ロータリーの未来はクラブメンバー一人一人の心の中にあるといっても良いでしょう。各ロータリークラブはクラブとして関心があり、またその地域社会に適した社会奉仕活動を自主的に選ぶことについて絶対的な権利を持っています。各ロータリークラブが活発な活動を営むために地区は存在していると考えます。各ロータリークラブが、より大きなインパクトをもたらすプロジェクトを達成されることを、祈念しております。

(インパクトとは、活動から生じた長期的で好ましい変化。活動がなければもたらされなかった、測定可能な変化)



【数値目標】

| | |
|------------------------------|------------------------------|
| 1. 会員増強 | 純増+5%以上 |
| 2. ロータリー財団年次基金への寄付 | 1人150ドル×会員数 |
| 3. ポリオプラス基金への寄付 | 1人30ドル×会員数 |
| 4. 年次基金およびポリオプラス基金ゼロクラブゼロの達成 | |
| 5. 恒久基金への寄付 | ベネファクター 新規認定者1,000ドル以上×10名以上 |
| 6. ポール・ハリス・フェロー | 新規累計額1,000ドル以上×1クラブ1名以上 |
| 7. ポール・ハリス・ソサエティー | 新規認定者10名以上 |
| 8. ポリオ・プラス・ソサエティー | 新規認定者1クラブ1名以上 |
| 9. 米山記念奨学金寄付(普通特別寄付合計) | 1人¥20,000×会員数 |
| 10. 台北国際大会の地区内参加者 | 200名以上 |



私たちロータリアンが善の心を持って活動し地域社会に良い結果をもたらされる。その変化がまたさらに善の心を持つ行動をする人たちを増やして世の中に善の循環が広まればいいなということを考えまして私は2560地区の目標として「ロータリーで善の循環」をとすることを挙げさせていただきました。

アレッツォRI会長はロータリーに対して継続性を持った計画的な行動をすることを求めています。それにはクラブ戦略計画の作成を浸透させることが重要です。クラブの戦略計画をお作りになりその戦略計画を実行されることを希望しております。

公共イメージの向上は長年の課題となっており、一般の人々にロータリーの活動をしていただくことは改革内のポイントであると考えられます。

日本でのロータリーの認知度は約40%という結果が出ています。かたやロータリーの知名度を台湾で同じアンケートを取ると90%以上の方がロータリーについて知っているロータリー活動について聞いたことがあるという答えが返っております。

みなさんお一人お一人が公共イメージの向上ということで活動する時に奉仕活動のサインをですなロータリーについて広く一般に知っていただくという活動をしていただきたい。

具体的に言えば周知の為に登り旗を立てるとか新聞に対して奉仕活動を報道していただくやまた最近でしたら SNS やYouTubeなどを使ってよりクラブの名前だけせめてロータリークラブのこの歯車のロゴだけでも知っていただくとか発信をしていただきたいと思います。

ロータリーファミリーを広げることそしてパートナーシップを広げることがロータリーの拡大を意味します。

各関係団体と手を取り合える奉仕活動を展開していきましょう。

数値目標ということで1番から10番まで策定させていただきました。6番・7番のポール・ハリス・フェローやソサエティーですがフェローとはロータリー財団に累計1,000米ドル以上の寄付をした人、または名義人を称える認証で、ソサエティーはロータリー財団への継続的な支援者を認証するプログラムを言い新規認定者10名以上と目標をあげさせていただきます。現在この2560地区では25名のメンバーがおります。

2026年台北国際大会
2026年6月13日-17日

※登録はMY Rotaryからお申し込み。




国際大会への参加者目標を200名以上という風に挙げさせていただきます。是非みなさま方にお伝えしたいのは国際大会に参加すると(私はもう何回も国際大会に行っておりますが)やはり改めてですな自分がRIの一員であり、世界中にこんなに同じ想いでロータリー活動している同志がいるという自覚をすることができますのでご参加ください。

たまたま座った隣の人や町でロータリーマークのシャツを着ているんな国々から来た人に声をかけると気持ちよく挨拶をして言葉を交わしてくれます。そんな体験ができるのがロータリーの国際大会であります。





国際共同委員会(ICC:Intercountry Committee)の設立に向けて

設立趣旨説明: 日本の地区全体でウクライナの精神的支柱になる

2国間の国際奉仕活動は、従来は地区グローバル補助金を使い実施されてきました。今、ウクライナを支援したいと考えた場合、従来方式でも当然可能です。しかし、**ロシア侵襲はいつ終わるでしょう。ただ、問題はその後です。**ウクライナ国民が自国内で普通の健康的な生活を送れるようになるには、荒廃した国土、産業、経済を立て直す必要があります。それには10年、20年という長い月日が必要になるのではないのでしょうか。

我々ができることは、国家レベルの支援と比べれば、本当に小さなことかもしれませんが、ただ、ロータリーの支援は国家による支援より、現地のニーズに合わせた丁寧な部分にも焦点を当てることが可能です。

日本全体のロータリアンが国際共同委員会という形で、ウクライナの復興を真摯に考えているという姿勢が、ウクライナのロータリアンだけでなく、ウクライナ国民の精神的支柱になるものと信じます。混乱、混乱の中で一番必要なのは、精神的支柱ではないでしょうか。**日本全体の地区が一緒に行動を起こす。そこに今回の国際共同委員会の設立の大きな意味があります。**



国際共同委員会(ICC)の設立

国際共同委員会、2か国以上の国の間の国内または地域レベルの関係です。国内の国際共同委員会には、国内のすべての地区の合意が必要です。地域レベルの国際共同委員会には、関係に参加するすべての地区の合意が必要です。また、国際共同委員会の設立は、国際ロータリーまたは地区やクラブの法的、財政的、その他の義務または責任を負うことを意味するものではありません。(つまり、国際共同委員会設立を締結しても、地区は何にも拘束されることはありません)

- 国際共同委員会の名前は、参加国または参加地区の名前から付けられます。
- 各国の関心のあるロータリアンは、**国際共同委員会を設立するための計画委員会を結成する**必要があります。

計画委員会の責任:

- ✓ 各地区のガバナーから国際共同委員会の組織化の承認を得る。
- ✓ 計画会議を組織する(下から上に移動しました)
- ✓ 2か国関係を主導する国際共同委員会の議長を選出する。
- ✓ 国際共同委員会参加者が実施する可能性のあるプロジェクトや活動を特定する。



2560地区がICCに参画するかという決意を取らせていただきましたところ54クラブ中41クラブがICCについて参画するという賛成意見をいただきまして、2560地区は他の地区と一緒に日本全体のロータリアンが国際共同委員会という形でウクライナのロータリアンに留まらずウクライナの支えになることを決定させていただきました。



| 地区名 | 代表者 | 連絡先 | 備考 |
|------|----------|--------------|----|
| 1地区 | 山田 太郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 2地区 | 田中 次郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 3地区 | 佐藤 三郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 4地区 | 鈴木 四郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 5地区 | 高橋 五郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 6地区 | 斎藤 六郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 7地区 | 伊藤 七郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 8地区 | 渡辺 八郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 9地区 | 中村 九郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 10地区 | 森田 十郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 11地区 | 山本 十一郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 12地区 | 松本 十二郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 13地区 | 石川 十三郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 14地区 | 清水 十四郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 15地区 | 山崎 十五郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 16地区 | 佐々木 十六郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 17地区 | 高木 十七郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 18地区 | 橋本 十八郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 19地区 | 石川 十九郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 20地区 | 清水 二十郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 21地区 | 山崎 二十一郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 22地区 | 佐々木 二十二郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 23地区 | 高木 二十三郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 24地区 | 橋本 二十四郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 25地区 | 石川 二十五郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 26地区 | 清水 二十六郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 27地区 | 山崎 二十七郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 28地区 | 佐々木 二十八郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 29地区 | 高木 二十九郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 30地区 | 橋本 三十郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 31地区 | 石川 三十一郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 32地区 | 清水 三十二郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 33地区 | 山崎 三十三郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 34地区 | 佐々木 三十四郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 35地区 | 高木 三十五郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 36地区 | 橋本 三十六郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 37地区 | 石川 三十七郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 38地区 | 清水 三十八郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 39地区 | 山崎 三十九郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 40地区 | 佐々木 四十郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 41地区 | 高木 四十一郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 42地区 | 橋本 四十二郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 43地区 | 石川 四十三郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 44地区 | 清水 四十四郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 45地区 | 山崎 四十五郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 46地区 | 佐々木 四十六郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 47地区 | 高木 四十七郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 48地区 | 橋本 四十八郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 49地区 | 石川 四十九郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 50地区 | 清水 五十郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 51地区 | 山崎 五十一郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 52地区 | 佐々木 五十二郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 53地区 | 高木 五十三郎 | 03-XXXX-XXXX | |
| 54地区 | 橋本 五十四郎 | 03-XXXX-XXXX | |



クラブ協議会フォローアップ





次週例会 9月10日 「外部卓話」
新潟・市民映画館シネ・ウインド
支配人 井上経久様

次々週例会 9月17日 休会(祝日の週)



皆様の写真で
本週報の表紙を
飾って
みませんか？

今期の三条ロータリークラブ週報では、皆様より表紙の写真を集めたいです。
日常の風景から旅先のスナップ・渾身のワンカットなど、会員様の素敵な写真をご提供ください。
画像タイトル(キャプション)を入れてメールでお送りください。
宛先は渋谷会員宛「m-shibuya@san-in.biz」までお願いいたします。
※投稿者名を非掲載希望の方は、メール送信時にその旨ご記載ください。
※応募者多数の場合は掲載されない場合もございます。ご容赦願います。